

残留農薬分析法の迅速化 (ジチオカルバメート系農薬の検査)

食品検査分析センター 検査分析課

TEL:011-742-5442

E-mail:kensabunseki@hokuren.jp

(背景および取り組み内容)

JA グループ北海道では農産物中の残留農薬の自主検査に取り組んでおり、近年の JA 北海道大会においても「**食の安全・安心宣言の実践**」が重点取組事項とされるなど、残留農薬検査の重要性は増しています。

ジチオカルバメート系に分類される農薬は「グリーンペンコゼブ水和剤」や「ジマンダイセン水和剤」などが挙げられ、殺菌剤としての適用範囲が非常に広いため、作物の生産には欠かせない薬剤となっています。流通・使用量に比例するように残留農薬検査の需要も多くなっており、当課でも検査に取り組んでいますが、これまでの分析法は煩雑で所要時間が長く、検査依頼への迅速な対応が難しいことが課題となっていました。そこで本研究では、**いち早く検査結果を知りたいという生産現場の声に応えるため**、ジチオカルバメート系農薬の分析法の迅速化に取り組みました。



機器測定前の準備



残留農薬の分析機器

(試験結果と成果)

本研究では、厚生労働省から通知されている分析法を土台に、近年開発が進んでいる迅速化の手法や資材を組み合わせ、新たな分析工程を組みました。さらに、組み上げた分析法が正しい分析結果を出せるかどうかについて、厚生労働省のガイドラインにもとづき、化学的・統計的に確認しました。また、国内外の学会などで専門家の評価も得ています。

分析法を迅速化したことで、**検体到着の翌々日以降だった検査結果の報告が、最短で検体到着の翌日には可能になり、同時に検査できる検体数も増えました。**

現在では当課の分析方法として活用しているほか、JA グループ北海道の複数の残留農薬検査機関で分析方法を共有し、**グループ全体の技術水準の向上**を図っています。